



令和4年度 須田小学校だより 令和4年8月26日(金)

須田小学校は、今年度創立150周年を迎えます。



須田っ子 第11号

学校教育目標「進んで心やからだをすこやかにする子」SA・SU・GA・DA

いざ、二学期へ

校長

34日間の夏休みが終わりました。今日から二学期が始まりました。

今年の夏休みは今まで以上に、新型コロナウイルスの感染が拡大しました。二学期も一学期同様感染予防対策を行いながら、教育活動を進めていきたいと思えます。

そんな中での二学期のスタートです。今年度のNHK大河ドラマは、「鎌倉殿の13人」ですが、「いざ、二学期へ。いざ、創立150周年記念式典へ」という気持ちです。

「いざ」は、「相手を誘って一緒に事を始めるときや思い切って行動しようとするときに発する語」ですが、二学期も頑張ろうという気持ちにさせられる言葉です。

始業式では、「たたくより、たたえあおう」、「新型コロナウイルス感染予防対策」「この夏の成果」の3つについて話をしました。

最初の話は、「ACジャパンの「寛容ラップ（全国キャンペーン）」についてです。CMで見たことがある方も多いと思います。お婆さんが代金を財布からすぐに出せないという場面から、焦らなくても自分のペースでよいという優しい言葉を掛けられるというふうに流れていきます。多様性が求められる時代、世代を問わず、自分と異なる立場や考え方に対する不寛容な行動が社会的に問題になっています。この企画の肝は、なんと相手をディスらないラップバトル。攻撃し合うのではなく、相手を尊重し認め合うことの大切さ、そこから生まれる交流を伝えています。須田小の子供たちには、たたくより、たたえあう二学期にしましょうと話しました。

二つ目は、感染拡大を続ける新型コロナウイルスの感染予防で気を付けることを話しました。子供たちには以下の注意することを提示しましたので、ご家庭でもご指導お願いします。

- ①体温を登校前に測り、学校に登校していいか確認する。
- ②基本はマスクを着用する。(特に、人混みの中では)
- ③うがい手洗いを徹底する。
- ④共用を避ける。(ハンカチの貸し借りなど)
- ⑤免疫力を高める。(睡眠、運動、栄養)
- ⑥偏見をもたない、差別をしない。
- ⑦不安な気持ちを伝える。(親、先生、友達)
- ⑧3密(密集、密接、密閉)を避ける。

※濃厚接触や、症状はないけれど陽性と診断された場合などの学習の機会の確保が今後の課題になります。学校では、Chromebookを持ち帰っている場合、オンラインでの授業参加を進めていきたいと考えています。

三つ目は、「今までやったことのない新しいことに挑戦しよう」と、一学期終業式で子供たちには話をしましたが、先生たちもダンスに挑戦しました。ダンスはうまく踊れるだけが楽しいわけではありません。体を動かすことや頭を使って動くこと、一緒に何かをすることなども楽しさに入ります。創立150周年記念式典では、人前で踊ったりするのはかなり緊張するかもしれませんが、思い切って体を動かし、楽しくダンスをしましょうという話をした後で、全校で夏休みの成果を発表しました。

夏休み中の様子



夏休み中は、学校の補修工事や網戸を入れる工事などがありました。児童玄関の屋根は新しくなり、これで雨漏りがなくなると思います。6年生教室の上のところは欠けていましたが、補修され、これで下を通っても安心です。網戸を入れました。予算の関係ですべての窓に入れることはできませんでしたが、子供たちが集まったときなどのコロナウイルス感染症防止策として体育館の窓の一部にも網戸を入れました。また、古くなった枝が落ちてくるということがあったので、子供たちの安全を守るために、銀杏の木などの剪定を行いました。



職員研修として、心身の健康のために、ヨガ体験をしたり、授業改善の取組やエビペンの使い方などの確認をしたりしました。また、オンラインを利用して、同和教育や特別支援教育についての研修会も行いました。



ご協力ありがとうございました。
今年度初の試みとして、8月1日(月)～8月5日(金)の午前8時から午後5時まで、須田コミュニティーセンター駐車場をお借りして、新聞・チラシ、雑誌、段ボールの古紙等を回収しました。回収重量は、5,460 kgとなりました。ありがとうございました。

体育館のギャラリーに防災グッズを収納しました。簡易ベッドやトイレなどがあります。災害時だけでなく、子供たちの学習にも活用していきたいと思います。